

# 平成30年度 京丹後市の教育



五輪メダリスト（ドイツカヌーチーム）とのスポーツ交流

京丹後市教育委員会

## 「平成30年度 京丹後市の教育」発刊のことば

平成30年度の教育行政は、平成27年3月に策定した京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき京丹後市が目指す教育、「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創り出す力を育む教育」の実現に向け精力的に取り組んでまいりました。

平成28年度より全市展開となりました京丹後市の最も大きな教育振興策であります「小中一貫教育」では、「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、6つの学園が共有し、特色を活かしながら小中連携、小小連携、保幼小連携の取組みを実践し、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指す教育活動に取り組みました。

子育て支援関係では、第2次京丹後市保育所再編等推進計画に基づき、平成31年度へ向け、網野こども園開園準備を行うとともに、5つの認定こども園の円滑な運営を行いました。

学校教育関係では、学校再配置の取組みとして、豊栄小・間人小学校づくり準備協議会による協議を経て、平成31年4月の「丹後小学校」開校に向けた準備を進めました。学習環境の整備では、平成28年度から継続して実施してきた小学校普通教室等の空調化工事の完了を目指すとともに、順次導入してきた電子黒板の運用開始、校務支援システムの円滑な運用により一層の校務の効率化が期待されるところです。

社会教育関係では、2か年事業として「京都府アーティスト・イン・レジデンス事業」に新たに取り組んだところで、文化芸術を活かしたまちづくりにつながっていくことを期待します。また、社会体育関係では、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン事業、2021年に開催が予定されている「ワールドマスターズゲームズ関西」の関連事業を推進したほか、峰山途中ヶ丘公園陸上競技場の日本陸連第3種公認に向けたリニューアル事業に着手しました。

文化財保護関係では、平成30年4月から旧郷小学校校舎を活用し民俗資料等を展示する「郷土資料館」が開館し、市内の児童生徒へ向けた郷土の歴史への関心を高める施設として運営を始めました。

本誌「京丹後市の教育」（教育要覧）の発行は今回で15年目となります。教育委員会活動を紹介する資料として、引き続き内容の一層の充実に努めてまいりたいと思いますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

令和元年9月

京丹後市教育委員会教育長 吉岡 喜代和

## 市の花「トウテイラン」

トウテイランは、8月から9月にかけて多数の青紫色の花を開く多年草であり、山陰海岸の砂丘に見られ、箱石砂丘の群落は「京都の自然200選」にも選定されています。

盛夏から秋にかけ、中国の洞庭湖（どうていこ）の湖水のように美しく神秘的な色の花を咲かせるトウテイランは、日本固有種で外国には自生しておらず、また、日本国内でも数か所にしか自生していない非常に貴重な花です。



## 市の木「ブナ」

ブナは、温帯林を代表する落葉広葉樹であり、雪にもめげず、春には他の落葉樹に先がけて芽吹きを始めます。

京丹後市には、山から里、そして海が1つの市の中で連続しているという特徴があり、森で育まれた栄養分が川から水田へ流れておいしいお米を育て、最後には海へ流れて、貝や魚等の生き物を育てています。

温暖化や森林破壊、人口爆発等、地球規模での課題に直面している今、気候を安定させ、多様な生き物を育み、「緑のダム」として水や食料を私達に与えてくれるブナ林は、まさに京丹後市の自然豊かな環境のシンボルと言えます。



## 市の歌について

未来を担う子どもたちが、ふるさとに対して興味や関心を持ちふるさとを誇りに思うことができる歌をめざし、市民の皆様にも永く歌い継がれる歌、京丹後市に夢を持ち、生き活きと歌い継いでいける歌、そして希望を持ち、将来に向かい明るい展望が持てる歌となるように京丹後市の魅力をもりこんだ歌です。（作詞：梅田俊作 作曲：藤原哲也）



京丹後市歌

詞 梅田 俊作

一、海青く 緑の半島 風そよぐ  
めぐりくる 季節のなかに いだかれて  
描く夢 色鮮やかに いつまでも  
ふるさと色は 君の原色

二、薄曇の 雲間に光る 海原は  
はるかなる 絹の道と 波つづき  
季節風（うらに）に ぬかるむ大地 踏みしめて  
歩いていこう 夢が道しるべ

三、さんさんと 天（そら）に子午線 時が往く  
世代越え 伝え守る 手から手に  
ものづくり ものがたりの 玉手箱  
はるか未来へ 君に預け物

四、いにしへの 歴史をたどる 丹後路は  
新しき 王国へと つづく道  
手をつなごう みんなの思いが 羅針盤  
ただひたすらに 京、丹後の 明日へ

# 目 次

## 教育行財政

1	教育委員会委員、教育委員会組織体制図	1
2	教育委員会事務局事務分掌表	2
3	教育委員会の開催状況	6
4	教育費予算の概要	12
5	京丹後市教育振興計画進捗管理表	14
6	主要な決算の概要	18

## 子育て支援

1	幼稚園・保育所・認定こども園 運営内容	28
2	各こども園・幼稚園の教育内容、各保育所の保育の理念・保育の目標	29
3	放課後児童クラブ登録児童数	41
4	子育て支援センター月別登録者・利用者数	42
5	家庭児童相談種別件数	43

## 学校教育

1	児童生徒数及び学級数の推移	44
2	学校施設一覧	47
3	京丹後市立公立学校施設整備事業、学校施設改修事業	49
4	学校通学区、スクールバス運行	50
5	奨学金	53
6	学校再配置	55
7	小中一貫教育	57
8	学校保健	59
9	学校給食	65
10	就学援助	68
11	教育指導	69
12	学校安全	76
13	不登校対策	79
14	研究等指定校	80
15	学校情報化推進	81
16	国際交流	84

## 社会教育

- 1 社会教育事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
- 2 公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
- 3 社会教育施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121
- 4 社会体育事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 123
- 5 社会体育施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133
- 6 図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135

## 文化財

- 1 文化財保護事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 144
- 2 文化財保護関係施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153
- 3 指定文化財・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 156

## 各種委員名簿

- 1 各種委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157

# 教育行財政

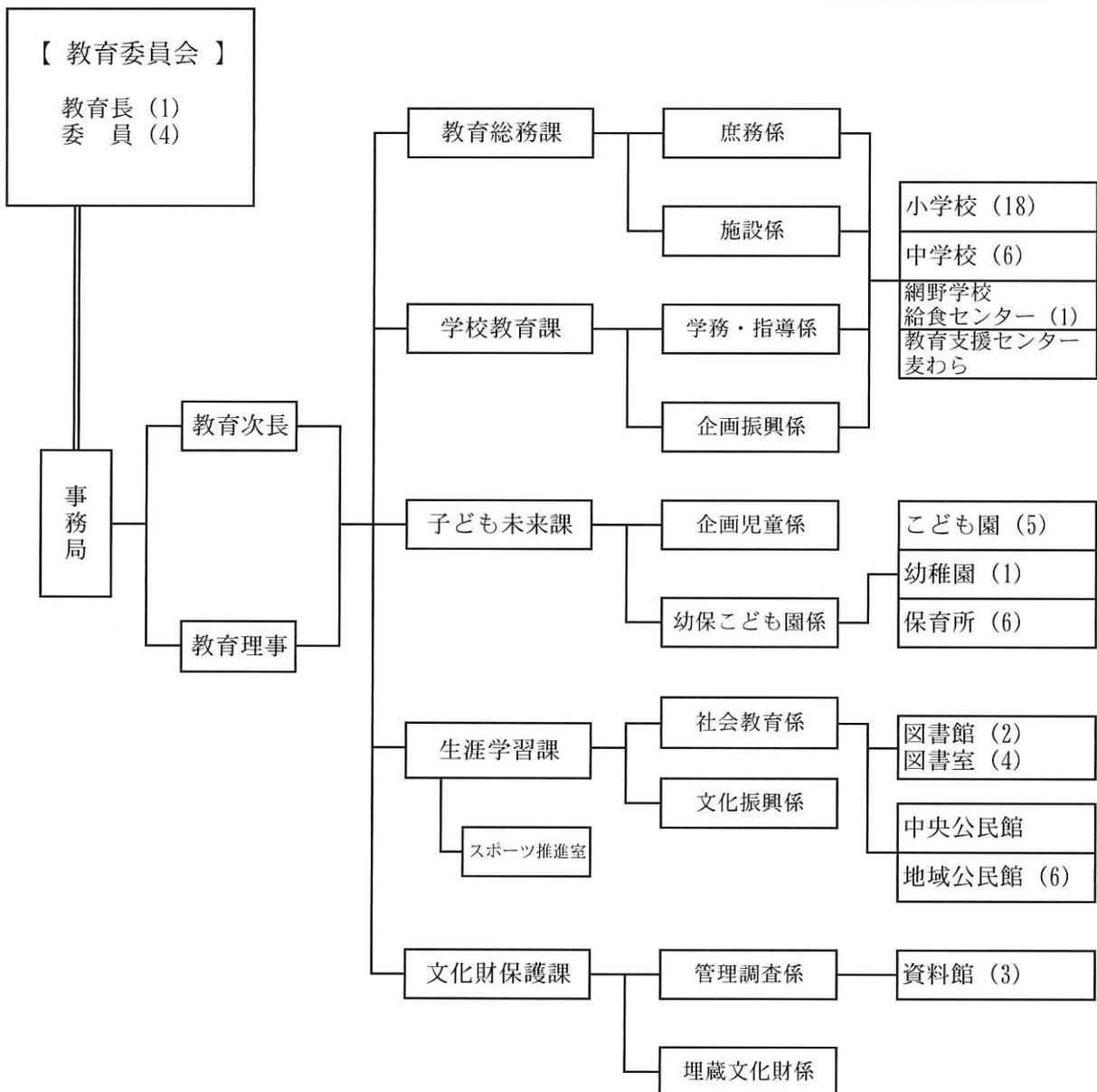
# 1 教育委員会委員

平成30年4月1日現在

教 育 長	吉 岡 喜代和	(平成28年7月8日～1期目)
教育長職務代理者	野 木 三 司	(平成24年1月30日～2期目)
委 員	久 下 多賀子	(平成28年6月30日～2期目)
委 員	田 村 浩 章	(平成28年7月8日～1期目)
委 員	安 達 京 子	(平成29年7月8日～1期目)

## 教育委員会組織体制図

平成30年4月1日現在



## 2 教育委員会事務局事務分掌表

### 教育総務課

#### ア 庶務係

- (ア) 教育振興基本計画に関すること。
- (イ) 教育委員会の会議に関すること。
- (ウ) 学校の設置、廃止等に関すること。
- (エ) 規則等の制定及び改廃に関すること。
- (オ) 職員の任免、進退、賞罰、服務及び身分に関すること。
- (カ) 職員の給与及び福利厚生に関すること。
- (キ) 職員の公務災害に関すること。
- (ク) 非常勤職員の任用に関すること。
- (ケ) 京丹後市立学校勤務府費負担教職員安全衛生委員会に関すること。
- (コ) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- (サ) 公印の管理に関すること。
- (シ) 文書の収受及び発送に関すること。
- (ス) 教育費の予算編成及び決算に関すること。
- (セ) 奨学金に関すること。
- (ソ) 公用車の運行管理に関すること。
- (タ) 広報に関すること。
- (チ) 叙勲及び表彰に関すること。
- (ツ) 寄附採納に関すること。
- (テ) 外国語指導助手に関すること。
- (ト) 教育委員会の庶務に関すること。
- (ナ) (ア)から(ト)までに掲げるもののほか、他の課に属さないこと。

#### イ 施設係

- (ア) 学校施設の基本計画及び実施計画に関すること。
- (イ) 学校施設の維持管理に関すること。
- (ウ) 学校施設の防災に関すること。
- (エ) 学校施設の国庫負担金(補助金)に関すること。
- (オ) 学校施設の施設台帳及び財産台帳に関すること。
- (カ) 学校跡施設の維持管理、利活用に関すること。
- (キ) (ア)から(カ)までに掲げるもののほか、教育施設に関すること。

## 学校教育課

### ア 企画振興係

- (ア) 学校規模の適正化等の調査及び検討に関すること。
- (イ) 学校再配置に関すること。
- (ウ) 学校教育改革構想に関すること。
- (エ) 教科書の採択に関すること。
- (オ) 通学区域に関すること。
- (カ) 学校評議員に関すること。
- (キ) 学級編成に関すること。
- (ク) 児童生徒数の推計に関すること。
- (ケ) 指導主事の服務に関すること。
- (コ) 教育相談の総括に関すること。
- (サ) 教育支援センターに関すること。
- (シ) 学校教育の情報発信に関すること。
- (ス) スクールバスの運行管理に関すること。
- (セ) 児童生徒の国際交流に関すること。
- (ソ) (ア)から(セ)までに掲げるもののほか、企画振興に関すること。

### イ 学務・指導係

- (ア) 就学に関すること。
- (イ) 学齢簿に関すること。
- (ウ) 教科書の無償給与に関すること。
- (エ) 学校保健、学校安全に関すること。
- (オ) 小中一貫教育の実践に関すること。
- (カ) 教育のまちづくりの推進に関すること。
- (キ) 学校給食、食育に関すること。
- (ク) 学校経営、教育活動及び教育課程の指導助言に関すること。
- (ケ) 研究指定校に関すること。
- (コ) 教職員及び講師の任免並びに内申に関すること。
- (サ) 教職員の免許更新及び研修に関すること。
- (シ) 教職員の服務、公務災害及び給与事務に関すること。
- (ス) 学校の管理運営予算及び教育振興予算の執行に関すること。
- (セ) スクールサポーターの任用に関すること。
- (ソ) (ア)から(セ)に掲げるもののほか、学務・指導及び学事に関すること。

## 子ども未来課

### ア 企画児童係

- (ア) 子ども・子育て支援事業計画の策定及び進行管理に関する事。
- (イ) 子ども未来まちづくり審議会に関する事。
- (ウ) 少子化対策、子育て支援の企画及び調整に関する事。
- (エ) 要保護児童対策地域協議会に関する事。
- (オ) 家庭子ども相談室に関する事。
- (カ) 放課後児童健全育成事業に関する事。
- (キ) ファミリー・サポート・センターに関する事。

### イ 幼保こども園係

- (ア) 幼稚園、保育所及び認定こども園の設置、廃止等に関する事。
- (イ) 就園及び保育の実施に関する事。
- (ウ) 幼稚園の教育課程及び保育所の保育計画及び認定こども園の教育・保育計画に関する事。
- (エ) 保育費用等の徴収に関する事。
- (オ) 入園・入所児童の健康安全に関する事。
- (カ) 私立保育所及び無認可保育所に関する事。
- (キ) 幼稚園の預かり保育事業に関する事。
- (ク) 保育所の一時預かり事業に関する事。
- (ケ) 認定こども園の子育て支援事業に関する事。
- (コ) 子育て短期支援事業に関する事。
- (サ) 子育て支援センターの運営に関する事。

## 生涯学習課

### ア スポーツ推進室

- (ア) スポーツ推進審議会に関する事。
- (イ) スポーツ及びレクリエーションの振興に関する事。
- (ウ) 体育施設の整備及び維持管理に関する事。
- (エ) 社会教育関係団体に関する事。
- (オ) スポーツ観光の推進に関する事。
- (カ) スポーツイベント等に関する事。
- (キ) (ア)から(カ)までに掲げるもののほか、スポーツの推進に関する事。

## イ 社会教育係

- (ア) 社会教育委員会議に関する事。
- (イ) 社会教育計画の立案に関する事。
- (ウ) 公民館に関する事。
- (エ) 図書館に関する事。
- (オ) 社会教育施設の整備及び維持管理に関する事。
- (カ) 社会教育事業に関する事。
- (キ) 社会教育関係団体に関する事。
- (ク) (ア)から(キ)までに掲げるもののほか、社会教育に関する事。

## ウ 文化振興係

- (ア) 文化芸術の振興に関する事。
- (イ) 文化芸術関係団体に関する事。
- (ウ) (ア)、(イ)に掲げるもののほか、文化振興に関する事。

## 文化財保護課

### ア 管理調査係

- (ア) 文化財保護審議会に関する事。
- (イ) 文化財保護団体に関する事。
- (ウ) 資料館、文化館等文化財関係施設に関する事。
- (エ) 文化財の普及啓発に関する事。
- (オ) 文化財補助金に関する事。
- (カ) 収蔵資料の管理に関する事。
- (キ) 市史編さんに関する事。
- (ク) 文化財の調査及び研究、収集並びに保存に関する事。
- (ケ) 文化財情報提供及び指導助言に関する事。
- (コ) (ア)から(ケ)までに掲げるもののほか、文化財の管理調査に関する事。

### イ 埋蔵文化財係

- (ア) 埋蔵文化財の発掘調査に関する事。
- (イ) 史跡の整備に関する事。
- (ウ) その他埋蔵文化財に関する事。

### 3 教育委員会の開催状況

#### (1)教育委員会審議案件等一覧(平成30年4月～平成31年3月)

開催日	会議名	議案番号	議案件名	会場
平成30年4月6日	4月定例会	41	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について	大宮庁舎
		42	平成29年度京丹後市指定文化財の指定について	
		43	専決処分の承認について（京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について）	
		44	専決処分の承認について（京丹後市教育委員会職員補職名規則の一部改正について）	
		45	小学生ウルトラアドベンチャー～故郷の自然は楽しいがいっぱい～の開催に係る後援について	
		報告1号	京丹後市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について	
		報告2号	京丹後市立こども園・幼稚園・保育所内科医、歯科医及び薬剤師の委嘱について	
		報告3号	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について	
		46	京丹後市社会教育委員の解嘱及び委嘱について	
		報告4号	京丹後市立学校評議員の委嘱について	
平成30年5月1日	5月定例会	47	京丹後市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	大宮庁舎
		48	京丹後市文化財保護審議会委員の委嘱について	
		49	京丹後市立学校条例の一部改正について	
		50	京丹後市立学校通学区規則の一部改正について	
		51	京丹後市就学前からの小中一貫教育の円滑な実施に係る保育所、幼稚園、認定こども園及び学校の総称に関する規則の一部改正について	
		報告5号	京丹後市社会教育委員の委嘱について	
		52	平成30年度京丹後市立かぶと山小学校評議員の修正について	
		53	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について	
		54	京丹後市図書館協議会委員の任命について	
平成30年6月1日	6月定例会	55	京丹後市史跡整備検討委員会委員の解嘱及び委嘱について	大宮庁舎
		56	平成30年度京丹後市立学校評議員の解嘱について	
		57	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について	
		58	京丹後市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
		59	京丹後市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
		60	サンセットビーチフェス in Kyotangoの開催に係る共催について	
		61	第138回埋蔵文化財セミナーの開催に係る共催について	
		62	平成30年度京都府公立小中学校事務職員研究会夏季研究大会の開催に係る後援について	
		63	京都府バレーボール協会創立90周年記念 京丹後市バレーボールフェスティバルの開催に係る後援について	
		報告6号	平成30年度京丹後市学校給食献立作成委員会委員の委嘱について	
報告7号	平成30年度京丹後市教育支援委員会委員の委嘱について			

開催日	会議名	議案番号	議案件名	会場
平成30年7月4日	7月定例会	64	京丹後市小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について	大宮庁舎
		65	京丹後市教職員の働き方改革実行計画及び京丹後市部活動指導指針について	
		66	専決処分の承認について（千日会観光祭2018京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会～メロンカップ～の開催に係る共催について）	
		報告8号	京丹後市教育振興計画進捗管理について	
		報告9号	学校施設等ブロック塀の点検状況について	
平成30年8月1日	8月定例会	67	『「暗やみに光を灯した人」杉原千畝』の開催に係る後援について	大宮庁舎
		報告10号	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について	
		68	第1回野村克也杯学童野球大会『夢に向かって走れ』の開催に係る後援について	
平成30年8月27日	8月臨時会	69	平成31年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について	大宮庁舎
		70	平成31年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について	
		71	御室流華道京丹後支部展の開催に係る後援について	
平成30年9月3日	9月定例会	72	京丹後市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について	大宮庁舎
		73	財産の処分について	
		74	「安養寺蠟燭能10周年記念能」～丹後から能楽師プロジェクト～の開催に係る後援について	
		75	「地域みんなで子育て中のお母さんを支援しよう」の開催に係る後援について	
		76	「京丹後市いろは歌留多で学ぼう」の開催に係る後援について	
		77	一般社団法人京丹後青年会議所10月例会 未知との出会い～テクノロジーを知って明るい未来を描こう！～の開催に係る後援について	
		78	専決処分の承認について（京都府小学校教育研究会算数科教育研究大会の開催に係る後援について）	
平成30年10月1日	10月定例会	79	専決処分の承認について（平成29.30年度京都府教育委員会指定学力向上システム開発校研究発表会の開催に係る共催について）	大宮庁舎
		80	第25回京都府埋蔵文化財研究会開催に係る共催について	
		81	次世代育成事業「あきんど戦隊コシラエター」（ハーバリウム作成・販売）の開催に係る後援について	
		82	講演会「学ぼう！いじめが終わる方程式」の開催に係る後援について	
		83	TANGOはぐくみフェスティバルの開催にかかる後援について	
平成30年11月5日	11月定例会	84	京丹後市いじめ防止等基本方針の一部改定について	大宮庁舎
		85	丹後機械工業協同組合創立70周年記念事業「阿部先生のおもしろ楽しい不思議なサイエンスショー」の開催に係る後援について	
		86	第1回京丹後市ソフトバレーボール レディース大会の開催に係る後援について	
平成30年11月19日	11月臨時会	87	教育委員会事務局職員の処分について	大宮庁舎
		88	平成29年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について	
		89	京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業保育料徴収条例の一部改正について	
平成30年12月3日	12月定例会	90	「第10回京丹後市総合文化祭」の開催に係る共催について	大宮庁舎
平成31年1月4日	1月定例会	1	京丹後市教育振興計画策定委員会委員の委嘱について	大宮庁舎
		2	平成31年度全国学力・学習状況調査の実施について	

開催日	会議名	議案番号	議案件名	会場
平成31年2月1日	2月定例会	3	平成31年度「指導の重点」について	大宮庁舎
		4	京丹後市奨学金条例施行規則の一部改正について	
		5	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について	
		6	京丹後市立幼保連携型認定こども園条例施行規則の一部改正について	
		7	京丹後市一時預かり事業実施要綱の一部改正について	
		8	京丹後市子育て支援センター事業実施要綱の一部改正について	
平成31年2月12日	2月臨時会	9	平成31年度教育委員会関係予算について	アグリセンター 大宮
		10	京丹後市スポーツ施設整備基金条例の制定について	
		11	京丹後市社会体育施設条例の一部改正について	
		12	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について	
		13	京丹後市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
		14	京丹後市立保育所条例施行規則の一部改正について	
		15	第1回全国高等学校カヌー長距離選手権大会の開催に係る後援について	
平成31年2月25日	2月臨時会	16	平成31年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について	大宮庁舎
平成31年3月4日	3月定例会	17	京丹後市立幼稚園条例の廃止に伴う教育委員会関係規則の整備に関する規則の制定について	大宮庁舎
		18	京丹後市立幼稚園条例の廃止に伴う教育委員会関係告示の整備に関する告示の制定について	
		19	京丹後市教育委員会における障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領の一部改正について	
		20	京丹後市立学校管理運営規則及び京丹後市立小・中学校において使用する教材の取扱いに関する規則の一部改正について	
		21	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について	
		22	京丹後市指定文化財等補助金交付要綱の一部改正について	
		23	京丹後市教育振興計画策定委員会設置要綱の一部改正について	
平成31年3月12日	3月臨時会	24	平成31年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について	大宮庁舎
		25	京丹後市指導主事の任命について	
平成31年3月22日	3月臨時会	26	平成31年度京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について	大宮庁舎

## 教育委員会制度について

教育委員会は、都道府県及び市町村等におかれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツ振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

(教育委員会制度の根拠法律：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」)

教育委員会制度の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の中立性と安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国・都道府県・市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一体的な推進、の6つがあります。

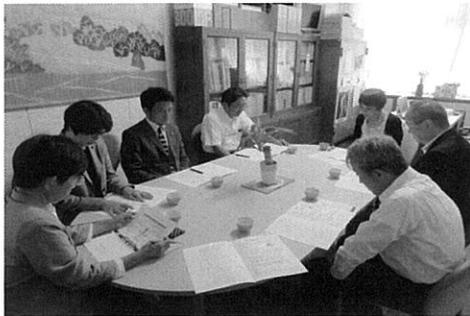
## (2)教育委員会委員の主な活動

### ア 総合教育会議

開催日	会議名	会議内容等	会場
平成30年10月10日	第1回総合教育会議	(1) 教育環境の充実について(食育)	市役所
平成31年3月27日	第2回総合教育会議	(1) 「いじめ」の状況について (2) 京丹後市教育振興計画の見直し状況について	大宮庁舎

### イ 管内視察研修

開催日	視察名	視察内容等	場所
平成30年5月1日	第1回管内視察研修	京丹後市立郷土資料館(展示資料及び施設見学)	網野町
平成30年6月1日	第2回管内視察研修	京丹後市立島津小学校(学校長との懇談と授業参観)	網野町
平成30年7月4日	第3回管内視察研修	京丹後市立間人小学校(学校長との懇談と授業参観)	丹後町
平成30年10月1日	第4回管内視察研修	京丹後市立長岡小学校(学校長との懇談と授業参観)	峰山町
平成30年11月19日	第5回管内視察研修	京丹後市立橘小学校(学校長との懇談、給食参観と試食)	網野町



長岡小学校での懇談



間人小学校での授業参観

### ウ 管外視察研修

開催日	視察名	視察内容等	場所
平成30年9月26日	第1回管外視察研修	(1) ハーベスト(株)宮津工場(宮津市の学校給食について) (2) 宮津市立宮津中学校(給食試食)	宮津市



### エ 教育委員協議会

開催日	会議名	協議内容等	会場
平成30年10月1日	第2回教育委員協議会	平成30年度全国学力・学習状況調査結果について	大宮庁舎
平成30年11月5日	第3回教育委員協議会	京丹後市立学校管理運営規則に係る授業日数の増加について	大宮庁舎

オ その他の活動

月 日	件 名	場 所	
4月	30. 4. 5	市内保育所入所・進級式	市内各保育所
	30. 4. 6	市内幼稚園入園式、市内こども園入園・進級式	市内幼稚園、認定こども園
	30. 4. 6	しんざん小学校開校式	京丹後市立しんざん小学校
	30. 4. 9	市内小学校入学式	市内各小学校
	30. 4. 10	市内中学校入学式	市内各中学校
	30. 4. 13	平成29年度中学生海外派遣事業報告会	アグリセンター大宮
	30. 4. 17	平成30年度第1回丹後教科用図書採択地区協議会	京都府宮津総合庁舎
	30. 4. 18	第1回京丹後市立校（園）長・保育所長会議（紹介・あいさつ）	大宮庁舎
5月	30. 5. 19ほか	市内小学校運動会	市内各小学校
	30. 5. 22	丹後地方教育委員会連合会定期総会	京都府野田川ユースセンター
	30. 5. 28	京都府市町村教育委員会連合会定期総会・研修会 演題『学校を取り巻く今日的な課題について』 講師 京都府教育庁 教育監兼学校危機監理監 前川明範氏	京都府総合教育センター
6月	30. 6. 9	市内中学校合唱祭	市内各中学校
	30. 6. 13	京丹後市小学校陸上運動記録会	峰山途中ヶ丘陸上競技場
	30. 6. 26	平成30年度京丹後市小中一貫教育授業研究会 公開授業会場校 網野北小学校（算数科）網野南小学校（算数科） 島津小学校（外国語科）橘小学校（算数科）	網野学園
7月	30. 7. 10	丹後地方教育委員会連合会教育委員等研修会 演題『教職員の働き方改革と教育行政・学校経営の課題』 講師 京都教育大学大学院連合教職実践研究科 教授 竺沙知章氏	京都府宮津総合庁舎
	30. 7. 11	教育委員任命辞令交付（久下多賀子委員）	京丹後市役所
	30. 7. 13	京丹後市立大宮中学校『夢・未来式』	京丹後市立大宮中学校
	30. 7. 27	平成30年度第2回丹後教科用図書採択地区協議会	京都府宮津総合庁舎
8月	30. 8. 1	平成30年度第3回丹後教科用図書採択地区協議会	京都府宮津総合庁舎
	30. 8. 3	平成30年度京丹後市小学校教育研究会夏季全体研修会 講演『児童が主体的に学び生活を創るアクティブ・ラーナーの育成』 講師 国学院大学 教授 杉田 洋氏	アグリセンター大宮
	30. 8. 21	第53回人権教育研究京丹後市大会 演題『同和問題の今日的課題とその解決に向けて』 講師 京都府人権教育研究協議会 顧問 濱 喜代巳氏	京都府丹後文化会館
9月	30. 9. 2	第14回京丹後市総合体育大会	峰山途中ヶ丘陸上競技場ほか
	30. 9. 8	市内中学校体育祭	市内各中学校
	30. 9. 22ほか	秋の運動会（各幼稚園・保育所・こども園）	市立幼稚園・保育所・こども園
10月	30. 10. 13	第27回京丹後市小学校駅伝競走大会	峰山途中ヶ丘陸上競技場
	30. 10. 22	丹後地方教育委員会連合会教育委員等視察研修 (1) アクティブ・ラーニング（課題解決型授業） ～洛北高等学校附属中学校の取組～ (2) 日本が誇る伝統文化を見聞し、その優れた修復保存技術を学ぶ ～国宝 本願寺唐門の修復工事～	(1) 京都府立洛北高等学校 附属中学校 (2) 本願寺（西本願寺）
	30. 10. 26	平成30年度京都府小学校教育研究会算数科教育研究大会 研究主題『算数科における児童の思考力・表現力の育成』 ～主体的・対話的で深い学びを目指して～	京丹後市立いさなご小学校
	30. 10. 31	京丹後チャレンジデー2019イベント『みんなで運動しようDay』	市内全域
11月	30. 11. 2	京都府内市町（組合）教育委員会研修会 『教育委員会の委員の役割等について』意見交換会	ホテルルピノ京都堀川
	30. 11. 3ほか	市内小学校学習発表会	市内各小学校

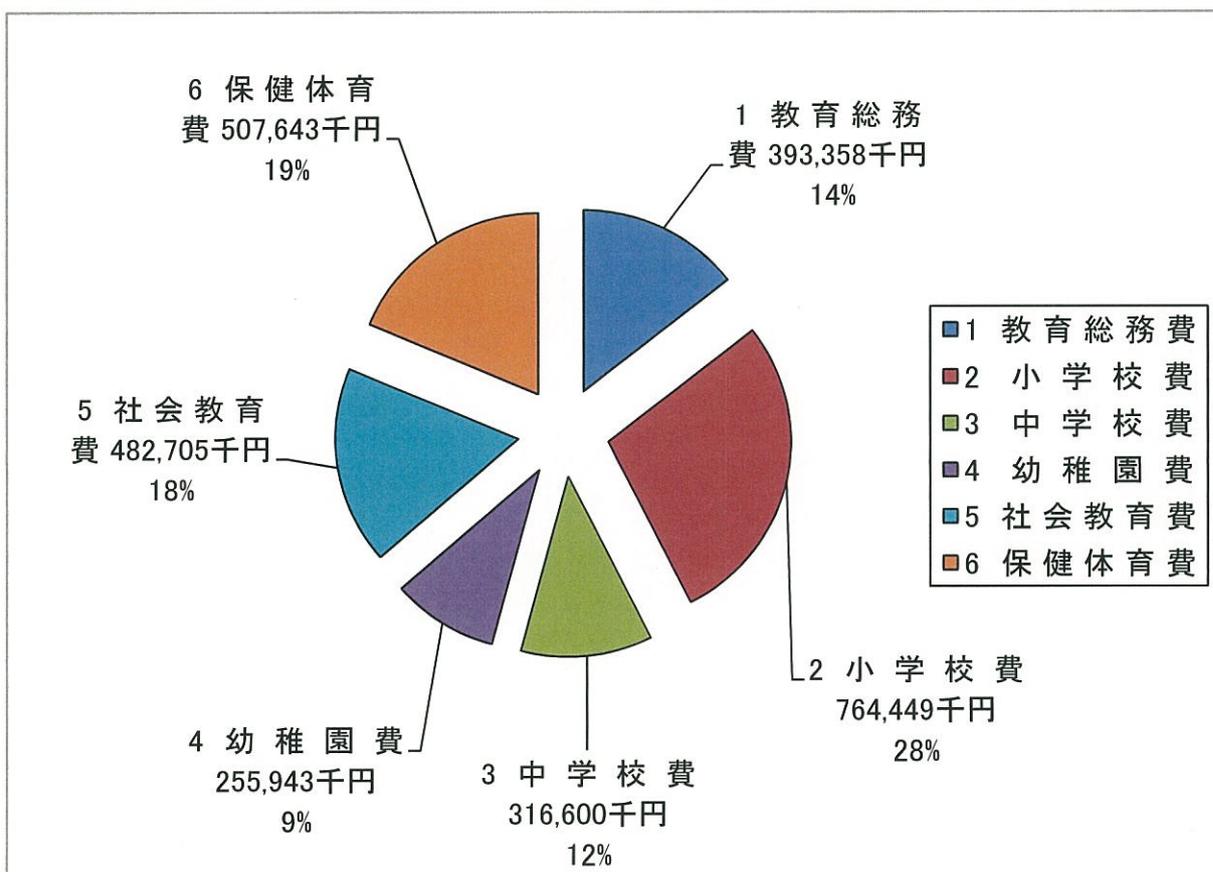
11月	30. 11. 7	平成30年度いじめ防止講演会 テーマ『子どもの人権といじめ問題』 ～京丹後市の子どもがいつも笑顔であるために～ 講師 弁護士 平林美沙子氏	アグリセンター大宮
	30. 11. 14	平成30年度京丹後市小・中学校音楽フェスティバル	京都府丹後文化会館
	30. 11. 14	京丹後市青少年健全育成講演会 演題『スマホ時代の子どもたちに大人ができること』 講師 一般社団法人ソーシャルデザイン研究会チーフ研究員 石川千明氏	アグリセンター大宮
12月	30. 12. 6	平成30年度京丹後市教育フォーラム テーマ『学校・家庭・地域社会との連携・協働と本市の 小中一貫教育』	京丹後市立弥栄中学校
1月	31. 1. 4	新年賀詞交換会	峰山総合福祉センター
	31. 1. 9	丹後地方教育委員会連合会臨時総会	京都府宮津総合庁舎
	31. 1. 12	第29回丹後町青少年少女意見発表大会	京丹後市立間人小学校
2月	31. 2. 2	京丹後市立峰山中学校、丹後中学校立志式	京丹後市立峰山・丹後中学校
	31. 2. 13	平成30年度第4回丹後教科用図書採択地区協議会	京都府宮津総合庁舎
3月	31. 3. 14	京丹後市立中学校卒業式	市内各中学校
	31. 3. 17	京丹後市成人式	京都府丹後文化会館
	31. 3. 20	京丹後市立小学校卒業式	市内各小学校
	31. 3. 22	京丹後市立間人小学校閉校式	京丹後市立間人小学校
	31. 3. 23	京丹後市立豊栄小学校閉校式	京丹後市立豊栄小学校

## 4 教育費予算の概要

(単位：千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	比 較
一般会計総額	33,670,000	32,590,000	1,080,000
教育費	2,720,698	3,101,895	△ 381,197
(教育費の占める割合)	8.1%	9.5%	—
1 教育総務費	393,358	400,996	△ 7,638
2 小学校費	764,449	1,111,133	△ 346,684
3 中学校費	316,600	366,258	△ 49,658
4 幼稚園費	255,943	302,260	△ 46,317
5 社会教育費	482,705	448,328	34,377
6 保健体育費	507,643	472,920	34,723

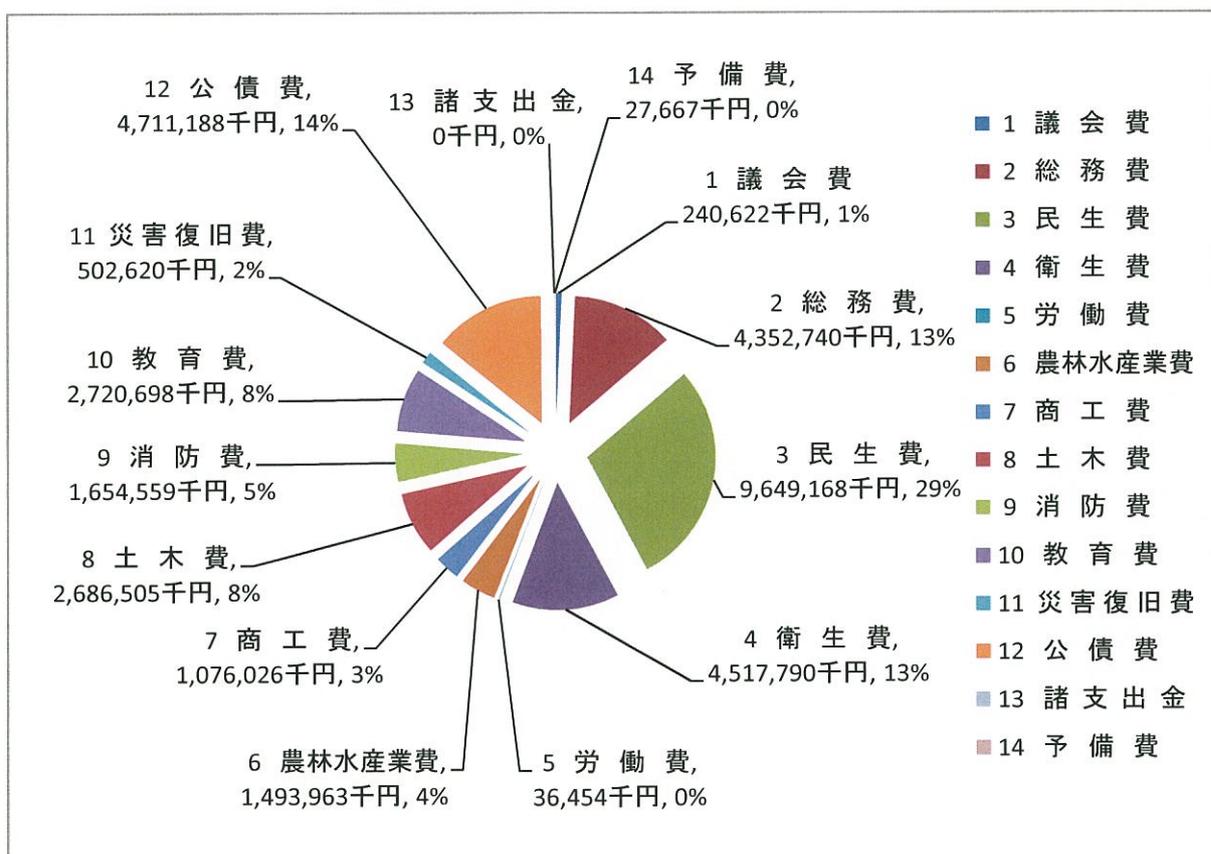
民 生 費	平成30年度	平成29年度	比 較
1 児童福祉費	3,316,859	3,205,457	111,402
(1) 児童福祉総務費	91,306	266,430	△ 175,124
(3) 保育事業費	2,230,916	0	2,230,916
(-) 保育所費	0	1,918,766	△ 1,918,766



## 一般会計歳出予算の目的別内訳

(単位：千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	比 較
1 議 会 費	240,622	246,555	△ 5,933
2 総 務 費	4,352,740	4,132,894	219,846
3 民 生 費	9,649,168	9,679,986	△ 30,818
4 衛 生 費	4,517,790	3,917,844	599,946
5 労 働 費	36,454	30,259	6,195
6 農林水産業費	1,493,963	1,448,701	45,262
7 商 工 費	1,076,026	1,404,515	△ 328,489
8 土 木 費	2,686,505	2,757,507	△ 71,002
9 消 防 費	1,654,559	1,252,794	401,765
10 教 育 費	2,720,698	3,101,895	△ 381,197
11 災害復旧費	502,620	0	502,620
12 公 債 費	4,711,188	4,591,169	120,019
13 諸 支 出 金	0	0	0
14 予 備 費	27,667	25,881	1,786
合 計	33,670,000	32,590,000	1,080,000



## 5 京丹後市教育振興計画(平成27年度～令和6年度) 進捗管理表

### 重点目標1 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	H30年度末	30年度成果と今後の課題
1. 就学前教育の環境整備 2. 保幼小の連携強化	幼稚園の数	4園 (平成25年度)	6園	1園	第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定し、令和3年度(平成33年度)までの5ヶ年を期間として、①保育所の再編、②民営化の検討、③認定こども園への移行などを定めている。6町すべての町域において認定こども園に移行することができた。
	病後児保育の実施事業所数	0か所 (平成25年度)	1か所	1か所	平成27年度の開設から4年目を迎え、徐々に利用が増加した。課題としては、特に子育て世代に、この制度の存在を伝える広報活動の推進がある。
	子育て支援センター数	7か所 (平成25年度)	8か所	8か所	市内8カ所で開設しており、保健師、助産師など専門職が子育て相談に対応するとともに、子育て世代間の友達づくり、情報共有など居場所を提供することができた。スペースの関係で児童の年齢に応じたクラス編成により、利用の曜日を決めるという調整をせざるを得ない点が課題となっている。
	一時預かり実施事業所数	6か所 (平成25年度)	9か所	10か所	平成28年度から、大宮北保育所とこうりゅう保育所を公設民営に移行させたことに伴い、両施設とも一時預かりを開始して、サービスの向上を図ることができた。
	保育所・幼稚園職員の全体研修数	3回 (平成25年度)	5回	3回	計画どおり全体研修を実施することができた。職員の資質向上は、教育・保育を提供する上で課題でもあるため、これ以外にも機会を捉えて研修を実施していく必要がある。

### 重点目標2 確かな学力・生き抜く力を育みます

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	H30年度末	30年度成果と今後の課題
1. 小中一貫教育の推進 2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上 3. 確かな学力の育成 4. 社会を生き抜く力の育成	学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立	実施中学校区 0校区 (平成25年度)	全中学校区(学園)で実施 6学園	6学園	各学校の関係者評価は、小中一貫教育の諸計画及び各学園の重点等を基盤に作成している。また、各学園の学校関係者評価の必須項目に「小中一貫教育の推進」を設定することで、学園の取組等の検証・評価を各校園単位でPDCAサイクルにより進めることができた。今後は、全ての学園に設置されている学校と地域との連携組織による学園評価について、更に充実させるための体制整備が必要である。
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合	小学生73.2% 中学生50.6% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙(平成25年度)小6・中3	小学生 80%以上 中学生 70%以上	小学生 79.6% 中学生 57.8%	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合は、小学生では3.4%増加したものの中学生は4.2%減少した。各学園で「家庭学習の手引き」を作成・配布するなど、学習習慣の定着に向けた取組や指導の効果は表れてきているものの、小中学生とも目標値にはあと一歩届いていない状況である。引き続き、家庭学習の充実に向けた家庭との連携を日常的に進め、家庭学習習慣の定着をより図っていく必要がある。
	一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着	小中学校各教科の全国平均正答率 ※毎年の文部科学省「全国学力・学習状況調査」	市平均の全教科 全国平均以上	小学校国語B、算数A・B、理科を除く全教科 全国平均以上	全国学力・学習状況調査結果は、小学校において一部の教科で全国平均を下回ったものの、おおむね全国平均以上の学力を付けている。各校園が学力調査の結果を分析し、授業改善や個に応じた支援を丁寧に行っていることや、一貫性のある系統的な指導が確実に進んでいる成果と捉えている。引き続き、児童生徒の学力向上を図るため、各校園の授業改善や授業研究等を推進していく必要がある。
	将来の夢や目標を持っている生徒の割合	中学生70.0% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(平成25年度)中3	中学生 90%以上	中学生 72.0%	将来の夢や目標を持っていると回答した生徒の割合は、前年度比で4.3%増加し、おおむね全国平均と同じ状況となっている。引き続き、キャリア教育の視点も入った「丹後学」のモデルカリキュラムを積極的に活用するとともに、生徒の自己肯定感を高める取組や小中一貫教育によるキャリア教育のより一層の推進・充実を図っていく必要がある。

重点目標3 子どもを健やかに育む教育環境を充実します

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	H30年度末	30年度成果と今後の課題
1. 子どもの安全・安心の確保 2. 学校施設環境等の整備充実 3. 個に応じた支援体制の充実 4. ボランティアによる学習支援の推進	市立小学校の耐震化	88.5% (平成25年度)	100%	100%	学校施設耐震化計画による小学校の耐震化は平成27年度をもって完了した。
	市立中学校の耐震化	93.5% (平成25年度)	100%	100%	学校施設耐震化計画による中学校の耐震化は平成26年度をもって完了した。
	非構造部材の耐震対策	0% (平成26年度)	100%	100%	国が指導する大規模空間（体育館やランチルームなど200㎡以上の空間を有する箇所等）の非構造部材耐震対策は、平成28年度をもって完了した。
	学校支援ボランティア登録者数	427人 (平成25年度)	500人	572人	ボランティア登録者数は毎年増加しているが、高齢化が進んでいるため、過去の登録者について整理するとともに、学校のニーズに応じた人材の発掘が必要である。

重点目標4 豊かな人間性・社会性を育みます

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	H30年度末	30年度成果と今後の課題
1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成 2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実 3. 家庭・地域の教育力の向上 4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成	不登校児童生徒の発生率	小学校 5人/0.16% 中学校47人/2.49% (平成25年度)	減少させる	小学校 0.28% 中学校 3.12%	不登校児童生徒の発生率は、小中一貫教育の推進による各校園での未然防止を重点とした取組や確実な情報の共有等によって、不登校解消に一定の成果は上がっているものの、不登校の出現率が増加傾向にある。特に中学校では、前年度比0.37%の増加となっており、出現率を減少させるための効果的な未然防止の取組強化が更に必要である。
	いじめの認知件数/発生率	小学校 386件 /12.7% 中学校 189件 /10.2% (平成25年度)	減少させる	小学校483件 19.1% 中学校40件 2.8%	いじめの認知率は、小学生で7.9%、中学校で0.7%増加した。特に小学校低・中学年の認知率が増加傾向にあるが、いじめを積極的に認知し指導しているものと捉えている。引き続き、些細な兆候も見逃さない組織的な対応を行うとともに、認知件数・認知率のみにとらわれず、より丁寧な指導を継続していく必要がある。
	認知されたいじめの年度内解消率	小学校 357件 /92.5% 中学校 181件 /95.8% (平成25年度)	100%	100%	平成30年度第2回いじめ調査の認知事象に基づく追跡調査結果では、小学校で9.0%、中学校で5%が未解消であり、解消要件を踏まえ児童生徒に寄り添った指導を継続している。今後も、各校のいじめ防止基本方針に基づき、実態把握や情報共有、組織的な対応を徹底し丁寧な指導を行うとともに、関係機関と連携した体制強化を図っていく必要がある。
	いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合	小学生97.0% 中学生90.9% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学校 98.6% 中学校 96.1%	いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や追跡調査、児童生徒への丁寧な指導により、小学校ではほぼ横ばい、中学校では増加し小中学校ともに高い水準を維持している。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取組の充実を図る必要がある。
	学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合	小学生93.8% 中学生90.8% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学校 86.2% 中学校 96.7%	学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、小中学校ともに減少したが、全国・府平均に比べて高く、各校園の丁寧な指導及び小中一貫教育による一貫性のある指導等によって、規範意識は確実に高まっている。引き続き、小学校低学年からの規範意識の醸成等による系統的な指導を進めていく必要がある。
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合	小学生94.4% 中学生95.2% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学生93.3% 中学生98.3% (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小学生ではやや減少したものの中学生では増加し、小中学生ともに高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、人の気持ちを理解して行動したり、発言したりすることの重要性が確実に身に付いてきている。今後も個別の配慮児童生徒への丁寧な指導が必要である。
	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	小学生94.0% 中学生93.2% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学校 96.3% 中学校 96.9%	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小中学校ともに増加し高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、社会貢献等への意識が確実に身に付いてきている。今後更に高めていくため、ボランティア活動など体験学習等の充実を図る必要がある。

重点目標 5 生涯にわたる豊かな学びを支援します

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	H30年度末	30年度成果と今後の課題
1. 生涯学習の体制づくり 2. 人権教育の推進 3. 文化芸術活動の推進 4. 社会教育施設の整備充実	青少年の体験活動事業数	42事業	60事業	55事業	地域公民館等の事業のほか、京都府や府内大学などの関係機関と連携し事業を実施している。効率的な事業運営の観点から複数の地域公民館が合同で実施する講座もあるため事業数としてはほぼ横ばいである。今後も社会教育団体や学校、地域と連携・協力をしながら学習機会を提供する。
	趣味・教養講座数	29事業	35事業	53事業	市民の自発的な学習を支援し継続的な学習活動を促進することができた。講演会や講座などの学習機会と情報の提供を行うことで、今後も市民生活の向上を図る。
	地域課題学習講座数	2事業	10事業	10事業	各町の公民館連絡協議会を中心に地域の現状把握や課題共有に努め講座が行われているが、今後も社会の変化に対応し学習していく必要がある。また、地域の社会教育や地域活動を推進する拠点である地区公民館の中には担い手不足等の課題を抱えている公民館もあり、地区、公民館、行政が、ともに実態に応じた地域コミュニティのあり方について考える必要がある。
	高齢者大学の参加者数	789人	1,000人	824人	高齢者大学の運営は定着しつつあるが、教養講座といえども自己完結型で終わるのではなく身につけた学びを地域活動や若い世代に伝えるなど、学びの循環が必要。退職によるライフスタイルの変化や、情報化、加齢に伴う心身の衰えや介護問題など、学習者によって抱える課題が多様化しており、より一層のニーズの把握と、対象者への周知が必要である。
	人権学習会の参加者数	820人 (平成25年度)	1,200人	1,297人	インターネット社会における人権の尊重、外国人の人権問題など、身近な生活の場で直面する課題においても日常生活の習慣として身につけ実践することができるよう学習機会の内容や方法の工夫改善に努める。
	図書の年間貸出冊数（市民1人当たり）	5.2冊 (平成25年度)	7冊	5.14冊	住民一人当たりの貸出数は少し増加し、行事等の開催、企画展示の実施などにより、多様な学習機会の提供に寄与した。しかし、利用者数・貸出点数をみると増加しているとは言えず、今後更に図書館に関心を持ち利用につながるよう、運営・事業開催等工夫が必要。また、図書館整備の中で、資料の貸出しに留まることなく、市民の求める居場所としての空間づくりも検討していく必要がある。
	文化協会加盟サークル数	170団体	200団体	157団体	各加盟団体が実施の教室や大会、市協会が実施の総合文化祭を通じて、市民のかたへ芸術鑑賞機会を提供することができた。今後も、市民が文化力を高め、加盟サークル数増加にもつながるよう協会を支援していく。

重点目標 6 歴史文化を活用し、郷土への愛着と誇りを育みます

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	H30年度末	30年度成果と今後の課題
1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実 2. 文化財の保護と活用 3. 資料館施設の整備充実	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	1,468人 (5事業 17講座) (平成25年度)	1,700人	1,384人	文化財セミナー（2回）、京丹後史博士育成講座（10回）、網野銚子山古墳発掘調査現地説明会、「小牧源太郎・上前智祐遺作展～京丹後市が生んだ二人の前衛画家の軌跡～」等の講座・展示会の参加者（760名）のほか、高齢者大学・出前講座等の対応（29回、624名）があり、29年度末の数字を上回ることができた。魅力ある講座や企画を打ち出し、目標値に近づけるようにしたい。
	資料館、文化館入館者数	13,808人 (3施設) (平成25年度)	15,000人	14,730人	旧郷小学校へ移転した郷土資料館が平成30年4月にオープンし、初年度は網野郷土資料館時代と比べて多くの入館者があった。一方で丹後古代の里資料館の入館者は微減し、琴引浜鳴き砂文化館の入館者は2,000人近く減少した。各館ともに、魅力ある企画を打ち出し、今後の集客増につなげていきたい。
	史跡整備	史跡整備6遺跡 (平成25年度) ※京丹後市文化財マスタープラン	8遺跡	7遺跡	京丹後市史跡整備検討委員会の指導を得ながら平成29年度には環境整備基本設計を実施した。これを踏まえ、30年度より5年計画で整備事業を進めている。30年度は、当該年度の環境整備工事の実設計および工事を行った。31年度以降も引き続き、実設計および工事を進める予定である。

重点目標 7 たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します

施策の方向性	主な目標指標	計画作成時	目標値 (R6)	H30年度末	30年度成果と今後の課題
1. 健康な体づくり 2. 地域スポーツ活動の推進 3. 競技力の向上 4. 社会体育施設の整備充実	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	小学生97.8% 中学生91.1% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙(平成25年度)	小学生100% 中学生95%以上	小学生96.5% 中学生92.5%	朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小中学生ともにやや減少したが高い水準で推移している。各校園における家庭向けの啓発及び児童生徒への丁寧な指導により確実に定着してきている。今後も保護者との連携を更に密にし、児童生徒全員が朝食を毎日食べる取組を進めていく必要がある。
	平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合	小学生88.4% 中学生77.2% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙(平成25年度)	小学生100% 中学生85%以上	小学生89.7% 中学生88.3% (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による)	平日午前7時より前に起きる児童生徒の割合は、中学生が4.7%減少したものの小中学生ともに高い水準で推移している。今後も各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。
	平日午後11時より前に寝る児童生徒の割合	小学生91.6% 中学生45.0% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙(平成25年度)	小学生100% 中学生50%以上	小学生96.4% 中学生85.5% (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による)	平日午後11時より前に寝る児童生徒の割合は、小学生はやや減少したものの中学生では大きく増加し、小中学生ともに高い水準である。今後も各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。
	小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上	8種目中7種目	全種目	8種目中4種目	小学校では、握力、上体起こし、長座体前屈などの柔軟性が全国平均を下回り、前年度に比べて全国平均を上回る種目が減少した。引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通じた体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。
	中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上	8種目中4種目	全種目	8種目中3種目	中学校では、握力、上体起こし、長座体前屈などの柔軟性が全国平均を下回り、前年度に比べて全国平均を上回る種目が減少した。引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通じた体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	21.6% 市民アンケート調査結果(平成24年度)	65.0% 国の目標	30.6% (参考値)	日常の中にスポーツを取り入れ、健康増進と体力の向上を図るため、スポーツ推進委員会を中心に地域でのニュースポーツ教室等を開催するとともに、チャレンジデーイベントに初めて取り組み、気軽にスポーツに接する機会を提供した。ニュースポーツ教室の参加者は減少傾向にあるため、仕事や家事、育児、介護等でスポーツをすることが難しい世代、また障害者、高齢者に配慮した魅力ある行事の開催とスポーツ教室に関する情報の提供が課題である。
	京都府民総合体育大会入賞競技数	6競技 京都府民総合体育大会結果(平成25年度)	10競技	4競技	入賞競技数は減少したものの市町村対抗の総合順位は9位となり、前年の11位から順位を上げた。今後は、2020年東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西を契機とし、競技力の向上を目指す。特に将来性を有するジュニアアスリートを養成する支援体制を整えることが重要である。
	公共スポーツ施設の利用回数	11,253回 公共施設利用状況調査結果(平成24年度)	13,000回	12,199回	スポーツの推進を図るため、積極的に体育施設の開放を行い、利用者の拡大に努めた。平成29年を境に公共施設の利用者は減少傾向にあり、施設の老朽化による機能性の低下や市民のスポーツ種別が多様化したものと推測される。今後は、公共施設の見直し計画による施設の集約化や指定管理者制度の導入等、より市民のニーズに則した施設環境づくりと機会の提供が求められる。

## 6 主要な決算の概要

小学校施設改修事業

学校情報化推進事業

学校再配置推進事業

小中一貫教育推進事業

学習支援体制整備事業

いじめ防止啓発推進事業

児童生徒国際交流事業

放課後児童健全育成事業

子育て支援センター事業

保育所整備事業

地域学校協働本部事業

高齢者教育事業

家庭教育事業

芸術文化事業

地域スポーツ推進事業

オリンピック・パラリンピックスタウン推進事業

遺跡整備事業

遺跡発掘調査等事業

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業	決算書	P.138
細事業名	01 小学校施設改修事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	②-① 執行率	(参考)当初予算額	
	181,402千円	185,994千円	4,592千円	97.5%	278,584千円	
目的	老朽化している学校施設が多い中、市内小学校施設における改修工事等を行い、児童が安全に、安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8,056千円</li> <li>3,489千円</li> <li>3,716千円</li> <li>410千円</li> <li>441千円</li> </ul> <p>○工事請負費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>172,655千円</li> <li>158,553千円</li> <li>2,333千円</li> <li>2,504千円</li> <li>1,142千円</li> <li>8,123千円</li> </ul> <p>○備品購入費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>691千円</li> </ul> <p>■令和元年度への繰越事業</p> <p>大宮南小学校プール改修事業 平成31年4月完成 4,399千円</p>					
主な財源	市債 小学校施設整備事業債(過疎対策債) 129,700千円					
	市債 小学校施設整備事業債(合併特別債) 41,000千円					
成果・課題	○施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○学校施設の老朽化が進む中、文部科学省作成のインフラ長寿命化計画(行動計画)に則り、個々の学校施設の現状を把握し、長寿命化計画を作成する必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/教育総務課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	07学校情報化推進事業	決算書	P.134
細事業名	01 学校情報化推進事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	②-① 執行率	(参考)当初予算額	
	18,161千円	18,187千円	26千円	99.8%	18,795千円	
目的	小中学校の情報通信ネットワークの整備・維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と学校情報化を行う。また、ICTを活用した学習環境を推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>市内小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、情報教室用パソコン及びサーバー機器の維持管理を行うとともに、ウイルス対策を行った。また、小中学校(小3年から中学3年)の普通教室及び、特別支援教室に整備した電子黒板等の維持管理及び利用促進を行った。</p> <p>○需用費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2,219千円</li> <li>95千円</li> <li>2,124千円</li> </ul> <p>○役務費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>43千円</li> </ul> <p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4,377千円</li> <li>3,519千円</li> <li>778千円</li> <li>80千円</li> </ul> <p>○使用料及び賃借料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8,293千円</li> <li>3,534千円</li> <li>4,759千円</li> </ul> <p>○備品購入費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3,229千円</li> </ul>					
主な財源	○備品購入費					
	・ネットワーク機器(ルーター29台ほか)					
成果・課題	○ネットワークを利用した遠隔操作などにより、小中学校に整備した校内LAN、2,153台のパソコン(校務、普通教室、情報教室、タブレット)、電子黒板及びサーバー機器の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。 ○新学習指導要領に対応した学校のICT環境水準の維持・向上を図るため、計画的な機器の更新や整備を進める必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	08学校再配置事業	決算書	P.134
細事業名	02 学校再配置推進事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	3,348千円	3,427千円	79千円	97.6%	5,360千円	
目的	京丹後市学校再配置基本計画に基づき「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>学校再配置事業を円滑に推進するため、学校づくり準備協議会を設置し、新しい学校の開校に向けた取組を進めるとともに、再配置後の枠組に対応した児童の交流学習などを行ってきた。また、開・閉校の実施及び閉校に伴う地域(旧校区)での取組を支援した。</p> <p>平成30年度開校 しんざん小学校 平成30年度閉校 豊栄小学校、間人小学校</p> <p>○式典関連経費 310千円 ・消耗品費(式典用装飾花、看板等) 310千円</p> <p>○開校準備経費 1,499千円 ・報償費(校章・校歌作成記念品) 90千円 ・需用費(掲出用校旗、校名板修繕等) 138千円 ・手数料(クリーニング代) 4千円 ・委託料(設計委託料、校章等更新業務委託料) 619千円 ・備品購入費(式典用校旗、スレージー文字幕等) 648千円</p> <p>○開校記念誌補助金(新山小、丹波小) 1,539千円</p>					
主な財源						
成果・課題	<p>○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けて取り組み、計画通りの再配置を実現することができた。</p> <p>○引き続き、学校再配置基本計画の後期計画に基づき、地域の状況変化に応じた計画の見直しを継続するとともに、計画の検証・評価を行う必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業	決算書	P.136
細事業名	01 小中一貫教育推進事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	309千円	450千円	141千円	68.6%	571千円	
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。					
主要な事務・事業の概要	<p>小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による調査研究を行った。また、本市学校教育指導の重点をより明確にし、教職員への周知徹底を図るため、学校教育の指導の重点ダイジェスト版ポスター及びリーフレットを作成し、配布した。</p> <p>○小中一貫教育研究推進協議会(委員謝金、費用弁償) 88千円 ・協議会委員 13人(大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員等) ・協議会の開催 2回 ・調査研究事業 小中一貫教育実施校における効果と課題の整理</p> <p>○学校教育連携専門部会(印刷製本費) 112千円 ・専門部会 学校運営部員 6人 ・開催回数 学校運営部会 2回</p> <p>○学力向上対策会議研修会(消耗品費) 5千円</p> <p>○教育フォーラムの開催(消耗品費) 20千円 ・教育フォーラム(参加者:117人) 開催日:平成30年12月6日(木) 場 所:弥栄中学校</p> <p>○小中一貫教育に係る先進地域調査研究視察(旅費、燃料費等) 84千円 開催日:平成31年2月22日(金) 開催地:京都市 京都教育大学附属桃山地区学校園(参加者:16人)</p>					
主な財源						
成果・課題	<p>○小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ね、小中一貫教育推進基本計画に基づきより良い教育体制の整備を推進することができた。</p> <p>○引き続き、小中一貫教育を推進するための研究及び検証を進める必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業	決算書	P.136
細事業名	02 学習支援体制整備事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
執行率	25千円	98.0%				
目的	1,242千円					
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。					
主要な	地域ぐるみでの放課後学習の環境づくり「小学生放課後わくわく自習室」を継続する					
事業の	概要					
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動の実証研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生の放課後学習支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生放課後わくわく自習室（運営委託料） 地域人材を活用し、地区公民館等を会場に、毎週水曜日の放課後等に学習支援を行った。 実施地区（地域）：宇川連合区、佐野甲区</li> </ul> </li> <li>中学生の放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 学習が遅れがちな中学3年生を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。</li> <li>土曜日を活用した教育活動（消耗品費、バス運転委託料） 第二土曜日を「わくわく学びサタデー」に設定し、各学校の創意工夫による教育活動の実証研究を全小中学校で実施した。</li> </ul> </li> </ul>					
主な	958千円					
財源	164千円					
財源	706千円					
財源	118千円					
財源	府備 地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3） 府委 土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費委託金（10/10）					
成果	○小学生を対象とした「放課後わくわく自習室」を2地区（地域）で継続実施することで、地域と学校が連携した学びの支援体制づくりの検証を進めることができた。					
課題	○中学生の放課後学習支援を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器を活用し、個々の学習進度に応じた学習支援を行うことができた。					
課題	○放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を踏まえ、ニーズに応じた支援体制を構築する必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業	決算書	P.136
細事業名	01 いじめ防止啓発推進事業					
総合計画	計画項目 26 未来を拓く学校教育の充実					
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	②-①
執行率	158千円	94.6%	167千円	9千円		
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づきいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等の対策を総合的かつ効果的に推進する。					
主要な	11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめの防止等の取組についで、市民にいじめ問題について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るため、街頭キャンペーンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るため、「いじめ防止講演会」を実施した。更に、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行うため、いじめ相談専用電話を設置した。					
事業の	概要					
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費 50千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止講演会講師謝金 開催日：平成30年11月7日（水） 会場：アグリセンター大宮 講師：丹後ひらり法律事務所 弁護士 平林美沙子 氏 参加者：63人</li> </ul> </li> <li>○需用費 20千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷製本費 14千円</li> <li>いじめ防止啓発グッズ（PRカードシール 小学新1年生用 450枚） 6千円</li> <li>消耗品費（講演会花代） 26千円</li> </ul> </li> <li>○いじめ相談専用電話設置費 <ul style="list-style-type: none"> <li>フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士</li> </ul> </li> </ul>					
主な	62千円					
財源	○インターネットモラル研修会講師謝金 開催日：平成30年8月7日（火） 会場：アグリセンター大宮 講師：佛教大学 教育学部 教授 原 清治 氏 参加者：43人					
財源						
財源	教育委員会事務局/学校教育課					
成果	○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を図ることができた。					
課題	○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	15児童生徒国際交流事業	決算書	P.136
細事業名	01 児童生徒国際交流事業					
総合計画	計画項目		26 未来を拓く学校教育の充実			
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額	
2,977千円	3,213千円	236千円	92.6%	3,933千円		
目的	国際交流事業を推進することにより、語学力の向上はもとより、国際感覚をもちぐローバル社会で活躍できる人材を育成する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○小学生の国際交流 中学生海外派遣事業で本市と交流のあるニュージーランドのイングリウッド小学校と島津小学校の児童が、ライブ交流や手作りのメッセージカード等の交換を行った。 消耗品費、通信運搬費、ビデオ撮影・編集委託料</p> <p>○小中学生文化体験 小中学生を対象とした異文化理解・国際交流プログラムを実施した。</p> <p>○中学生の海外派遣 学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため海外へ派遣した。 派遣先：ニュージーランド ニューブリマス市 スポッツウッド・カレッジ 派遣期間：平成31年3月20日(水)～28日(木)の8泊9日間 派遣生徒：中学2年生 15人(選考により決定) ・海外派遣 報償物品、旅費、燃料費、通信運搬費、バス運転委託料、有料道路通行料、中学生海外派遣事業費補助金 ほか ・その他(事前研修会等)経費 講師謝金、印刷製本費、消耗品費</p>					
主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金				2,854千円	
成果・課題	○小学生国際交流、小中学生文化体験及び中学生海外派遣を行い、国際交流事業を推進することにより語学力の向上及び国際的視野をもった人材を育成することができた。 ○国際的視野を持った児童生徒を育成するため、国際交流事業の取組の充実を図る必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/学校教育課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	02放課後児童健全育成事業	決算書	P.94
細事業名	01 放課後児童健全育成事業					
総合計画	計画項目		25 子育て支援の総合的な推進			
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額	
163,785千円	164,145千円	360千円	99.7%	167,744千円		
目的	保護者の就労等により放課後や長期休業期の間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>保護者の就労等により、放課後や長期休業期等の間に家庭保育を受けることのできない小学校に通学する児童を対象に、安心して生活できる場を提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めた。</p> <p>○開設状況 年間開設日数：280日 開設時間：授業終了後～午後6時30分(長期休業期及び土曜日は午前7時30分～) 年間平均児童数：449人(10か所、12支援単位) 〔 峰山52人・長岡20人・いさなこ41人・大宮56人  口大野①51人・口大野②37人・網野南34人・網野北43人  丹後21人・弥栄26人・久美浜①53人・久美浜②15人 〕</p> <p>○需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費等) 5,957千円</p> <p>○委託料(消防設備点検、浄化槽点検、児童送迎車運転等) 8,519千円</p> <p>○放課後児童健全育成事業委託料 147,996千円</p> <p>○工事請負費(峰山・口大野工アコン移設工事等) 521千円</p> <p>○その他の経費(火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか) 792千円</p>					
主な財源	使用料 放課後児童健全育成事業利用料 使用料 公有財産使用料 国補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 府補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 諸収入 市有自動車損害共済金				19,331千円 10,904千円 15,548千円 15,548千円 85千円	
成果・課題	○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援した。 ○年々増加傾向にある利用者に対応するため、小学校の空き教室の活用など施設拡充を検討する必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	03子育て支援以外の事業	決算書	P.94																																																											
細事業名	01 子育て支援以外の事業																																																																
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進		執行率	(参考)当初予算額																																																												
決算額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	97.7%	15,195千円																																																												
13,967千円	14,292千円	325千円																																																															
目的	地域の子育て支援の拠点として市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供等、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを支援する。																																																																
主要な事務・事業の概要	<p>幼稚園・こども園入園前、保育所入所前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士がふれあいの場として、8か所の支援センターを設置することで、地域に密着した子育て支援を推進した。</p> <p>11月5日に開催した子育て講演会は、保護者71人、子ども84人、計155人の参加があった。また、旧浅茂川保育所において、平成31年4月から網野地域子育て支援センターを開設するための準備を行った。</p> <p>○支援センター利用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地域子育て支援センター</th> <th colspan="2">延べ利用人数</th> </tr> <tr> <th>児童</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>1,933人</td> <td>1,719人</td> </tr> <tr> <td>大宮北</td> <td>1,770人</td> <td>1,494人</td> </tr> <tr> <td>大宮南</td> <td>995人</td> <td>839人</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>1,731人</td> <td>1,603人</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>1,012人</td> <td>973人</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>1,063人</td> <td>813人</td> </tr> <tr> <td>かふと山</td> <td>1,457人</td> <td>1,051人</td> </tr> <tr> <td>こうりゅう</td> <td>1,202人</td> <td>1,027人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,163人</td> <td>9,519人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○親子リフレッシュ体操教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス (年間各10回)</th> <th colspan="2">延べ利用人数</th> </tr> <tr> <th>ベビー</th> <th>児童</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リトルキッズ</td> <td>123人</td> <td>115人</td> </tr> <tr> <td>キッズ</td> <td>52人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>118人</td> <td>89人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>293人</td> <td>254人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○なかよし広場</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>毎月1回</th> <th colspan="2">延べ利用人数</th> </tr> <tr> <th>合計</th> <th>児童</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>410人</td> <td>390人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨時職員賃金及び共済費  ○親子体操教室講師謝礼  ○通信運搬費(電話代)  ○その他経費(消耗品費等)  ○支援センター運営委託料(こうりゅう虹保育園)  ○網野地域子育て支援センター開設準備経費(IT)設置、保管用品等) 1,329千円</p>						地域子育て支援センター	延べ利用人数		児童	保護者	峰山	1,933人	1,719人	大宮北	1,770人	1,494人	大宮南	995人	839人	網野	1,731人	1,603人	丹後	1,012人	973人	弥栄	1,063人	813人	かふと山	1,457人	1,051人	こうりゅう	1,202人	1,027人	合計	11,163人	9,519人	クラス (年間各10回)	延べ利用人数		ベビー	児童	保護者	リトルキッズ	123人	115人	キッズ	52人	50人	合計	118人	89人	合計	293人	254人	毎月1回	延べ利用人数		合計	児童	保護者	合計	410人	390人
地域子育て支援センター	延べ利用人数																																																																
	児童	保護者																																																															
峰山	1,933人	1,719人																																																															
大宮北	1,770人	1,494人																																																															
大宮南	995人	839人																																																															
網野	1,731人	1,603人																																																															
丹後	1,012人	973人																																																															
弥栄	1,063人	813人																																																															
かふと山	1,457人	1,051人																																																															
こうりゅう	1,202人	1,027人																																																															
合計	11,163人	9,519人																																																															
クラス (年間各10回)	延べ利用人数																																																																
ベビー	児童	保護者																																																															
リトルキッズ	123人	115人																																																															
キッズ	52人	50人																																																															
合計	118人	89人																																																															
合計	293人	254人																																																															
毎月1回	延べ利用人数																																																																
合計	児童	保護者																																																															
合計	410人	390人																																																															
主な財源	<p>国補 子ども子育て支援交付金(1/3) 4,654千円</p> <p>府補 子ども子育て支援交付金(1/3) 4,654千円</p>																																																																
成果・課題	保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより、子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進を図ることができた。																																																																
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課																																																																

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育事業費	05保育所事業	決算書	P.94
細事業名	04 保育所整備事業					
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進		執行率	(参考)当初予算額	
決算額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	67.6%	91,971千円	
87,163千円	128,866千円	41,703千円				
目的	網野こども園の平成31年4月開設に向け、網野みなみ保育所の環境整備工事を実施する。また、統廃合により空き施設となっている旧保育所施設(2施設)を解体する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○網野みなみ保育所環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・網戸設置、調理室回転釜移設工事 59,783千円</li> <li>・エアコン及びプール設置、乳児トイレ改修ほか 347千円</li> <li>工事設計委託料 59,436千円</li> <li>工事監理委託料 1,953千円</li> <li>工事請負費 1,287千円</li> <li>56,196千円</li> </ul> <p>○旧保育所施設解体撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧河辺保育所 27,380千円</li> <li>工事設計委託料 25,409千円</li> <li>工事監理委託料 1,347千円</li> <li>産業廃棄物処理委託料(複写機) 332千円</li> <li>ごみ持込・廃消火器処理・廃家電処理等手数料 24千円</li> <li>重機借上料 84千円</li> <li>13千円</li> <li>工事請負費(施設解体・敷地整備、光ケーブル撤去) 23,609千円</li> <li>・旧田村保育所 1,971千円</li> <li>工事設計委託料 1,645千円</li> <li>産業廃棄物処理委託料(印刷機) 25千円</li> <li>ごみ持込・廃消火器処理・廃家電処理等手数料 61千円</li> <li>重機借上料 13千円</li> <li>工事請負費(光ケーブル撤去) 227千円</li> </ul> <p>参考 繰越明許費を除いた最終予算額 87,420千円</p> <p>参考 実質的な予算執行率 99.7%</p> <p>■令和元年度への繰越事業</p> <p>旧田村保育所除却事業 令和2年1月完了予定 41,446千円</p> <p>市債 児童福祉施設整備事業債(過疎対策債) 59,400千円</p> <p>市債 旧児童福祉施設解体事業債(合併特別債) 25,800千円</p>					
主な財源	<p>市債 児童福祉施設整備事業債(過疎対策債) 59,400千円</p> <p>市債 旧児童福祉施設解体事業債(合併特別債) 25,800千円</p>					
成果・課題	○網野みなみ保育所の環境整備工事を実施したことにより、受入態勢を整えることができ、平成31年4月に網野こども園をスムーズに開設することができた。 ○旧河辺保育所については、計画どおり年度内に工事を終えることができた。また、旧田村保育所については、建物に基礎杭があることが判明し、杭の撤去に時間を要することから次年度に繰越して実施する。					
所管課	教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業	決算書	P.136																																
細事業名	01 地域学校協働本部事業																																					
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実																																				
決算額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率			(参考)当初予算額																																
4,325千円	4,366千円	41千円	99.0%			4,366千円																																
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校の二一ス」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。																																					
主要な業務・事業の概要	<p>地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として登録し、全ての幼稚園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った。</p> <p>○実施期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日</p> <p>○実施場所 市内全ての小学校(18校)、中学校(6校)、こども園・幼稚園(6園)</p> <p>○地域コーディネーターの配置 6人(配置先:6中学校)</p> <p>○ボランティア登録者数 572人(平成30年度新規登録者数42人)</p> <p>○広報紙の発行 2回(ボランティア募集、活動報告)</p> <p>○ボランティア活動</p> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援(教科指導補助、「総合的な学習」の講師、部活動指導支援)</li> <li>・環境支援(学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動実績等</th> <th>ボランティア登録者数</th> <th>活動日数</th> <th>活動人数(延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山中学校区</td> <td>118人</td> <td>1,040日</td> <td>3,387人</td> </tr> <tr> <td>大宮中学校区</td> <td>92人</td> <td>263日</td> <td>351人</td> </tr> <tr> <td>網野中学校区</td> <td>147人</td> <td>733日</td> <td>4,297人</td> </tr> <tr> <td>丹後中学校区</td> <td>74人</td> <td>593日</td> <td>2,989人</td> </tr> <tr> <td>弥栄中学校区</td> <td>72人</td> <td>306日</td> <td>614人</td> </tr> <tr> <td>久美浜中学校区</td> <td>57人</td> <td>559日</td> <td>4,066人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>※市外12人含</td> <td>3,494日</td> <td>15,704人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○地域コーディネーター謝金 3,508千円</p> <p>○地域コーディネーター旅費 318千円</p> <p>○消耗品、印刷製本費 495千円</p> <p>○有料道路通行料 4千円</p>						活動実績等	ボランティア登録者数	活動日数	活動人数(延べ)	峰山中学校区	118人	1,040日	3,387人	大宮中学校区	92人	263日	351人	網野中学校区	147人	733日	4,297人	丹後中学校区	74人	593日	2,989人	弥栄中学校区	72人	306日	614人	久美浜中学校区	57人	559日	4,066人	合計	※市外12人含	3,494日	15,704人
活動実績等	ボランティア登録者数	活動日数	活動人数(延べ)																																			
峰山中学校区	118人	1,040日	3,387人																																			
大宮中学校区	92人	263日	351人																																			
網野中学校区	147人	733日	4,297人																																			
丹後中学校区	74人	593日	2,989人																																			
弥栄中学校区	72人	306日	614人																																			
久美浜中学校区	57人	559日	4,066人																																			
合計	※市外12人含	3,494日	15,704人																																			
主な財源	府補 地域で支える学校教育推進事業補助金(2/3) 2,474千円																																					
成果・課題	○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がり、市民の生きがい作りになっている。 ○地域による学校の「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方の「連携・協働」体制に発展させる必要がある。 ○学校活動の多様化に伴うニーズを的確に把握し、地域特性を活かした人材(ボランティア登録者)をより多く確保していく必要がある。																																					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	09高齢者教育事業	決算書	P.142																																								
細事業名	01 高齢者教育事業																																													
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																												
決算額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率			(参考)当初予算額																																								
2,489千円	2,742千円	253千円	90.7%			3,000千円																																								
目的	高齢者大学の講座を市内全域で実施することによって、高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進する。																																													
主要な業務・事業の概要	<p>○高齢者大学 824人(平成31年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者数</li> <li>・実施地域 各町(各地域公民館主管)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学園</th> <th>一般講座</th> <th>趣味講座</th> <th>講座内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>延べ参加者</td> <td>延べ参加者</td> <td>講座数</td> </tr> <tr> <td>8回</td> <td>525人</td> <td>125回</td> <td>1,635人</td> </tr> <tr> <td>7回</td> <td>259人</td> <td>28回</td> <td>274人</td> </tr> <tr> <td>10回</td> <td>1,074人</td> <td>203回</td> <td>3,331人</td> </tr> <tr> <td>7回</td> <td>328人</td> <td>54回</td> <td>640人</td> </tr> <tr> <td>8回</td> <td>256人</td> <td>55回</td> <td>650人</td> </tr> <tr> <td>7回</td> <td>382人</td> <td>53回</td> <td>583人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>47回</td> <td>2824人</td> <td>518回</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>7,113人</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table> <p>○賞金(受講生送迎業務臨時職員) 176千円</p> <p>○報償費(一般講座、趣味講座講師謝金) 1,625千円</p> <p>○旅費 13千円</p> <p>○需用費(消耗品費、燃料費) 251千円</p> <p>○委託料(バス運転委託料) 233千円</p> <p>○使用料及び賃借料(会場借上料等) 191千円</p>						学園	一般講座	趣味講座	講座内容	回数	延べ参加者	延べ参加者	講座数	8回	525人	125回	1,635人	7回	259人	28回	274人	10回	1,074人	203回	3,331人	7回	328人	54回	640人	8回	256人	55回	650人	7回	382人	53回	583人	合計	47回	2824人	518回			7,113人	54
学園	一般講座	趣味講座	講座内容																																											
回数	延べ参加者	延べ参加者	講座数																																											
8回	525人	125回	1,635人																																											
7回	259人	28回	274人																																											
10回	1,074人	203回	3,331人																																											
7回	328人	54回	640人																																											
8回	256人	55回	650人																																											
7回	382人	53回	583人																																											
合計	47回	2824人	518回																																											
		7,113人	54																																											
主な財源	諸収入 社会教育事業等参加費 824千円																																													
成果・課題	○高齢者大学各種講座の実施により、高齢者の仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの機会を提供することができ、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○より一層の高齢者の社会参加の促進と、学習の成果を地域活動等に活かす取組を推進する必要がある。																																													
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課																																													

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	10家庭教育事業	決算書	P.142																														
細事業名	01 家庭教育事業																																			
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																		
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額																															
	1,841千円	1,844千円	3千円	99.8%	2,081千円																															
目的	発達段階に応じた学習機会の提供及びきめ細かな家庭教育支援を実施することによって、全ての教育の出発点であり子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。																																			
主要な事務・事業の概要	<p>乳幼児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。</p> <p>○子育て講座（講師謝金等） 220千円</p> <table border="1"> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> <tr> <td>乳幼児期子育て講座</td> <td>6回</td> <td>155人</td> </tr> <tr> <td>就学前、思春期子育て講座</td> <td>5回</td> <td>337人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11回</td> <td>492人</td> </tr> </table> <p>○家庭教育支援チーム事業（ファシリテーター謝金） 721千円</p> <p>子育て経験者や専門的な知識や経験を持つサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で結集し、子育てに悩みや不安を抱えている親に対して、地域課題に即した子育て支援活動を行った。</p> <p>※家庭教育支援チーム：計6チーム、子育てサポーター：計48人</p> <table border="1"> <tr> <th>事業</th> <th>回数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> <tr> <td>子育て交流会</td> <td>29回</td> <td>560人</td> </tr> <tr> <td>「手紙で結ぶ」家族の絆」事業</td> <td>21回</td> <td>244人</td> </tr> <tr> <td>子育て広場</td> <td>10回</td> <td>284人</td> </tr> <tr> <td>高校生と赤ちゃんふれあい交流</td> <td>17回</td> <td>263人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>77回</td> <td>1,351人</td> </tr> </table> <p>※広報誌発行（全チーム） 発行回数：各1回</p> <p>○京丹後市PTA協議会補助金 900千円</p> <p>府研究大会の開催、市研究大会の開催、各種研修会の参加、安全会掛金等への助成</p> <p>府補 家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3） 622千円</p>						事業	回数	延べ参加者数	乳幼児期子育て講座	6回	155人	就学前、思春期子育て講座	5回	337人	合計	11回	492人	事業	回数	延べ参加者数	子育て交流会	29回	560人	「手紙で結ぶ」家族の絆」事業	21回	244人	子育て広場	10回	284人	高校生と赤ちゃんふれあい交流	17回	263人	合計	77回	1,351人
事業	回数	延べ参加者数																																		
乳幼児期子育て講座	6回	155人																																		
就学前、思春期子育て講座	5回	337人																																		
合計	11回	492人																																		
事業	回数	延べ参加者数																																		
子育て交流会	29回	560人																																		
「手紙で結ぶ」家族の絆」事業	21回	244人																																		
子育て広場	10回	284人																																		
高校生と赤ちゃんふれあい交流	17回	263人																																		
合計	77回	1,351人																																		
主な財源	府補 家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3） 622千円																																			
成果・課題	<p>○子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割などの重要性について、認識を深めることができた。</p> <p>○関係機関との連携により、課題の共有とより効果的な学習会等の実施を図る必要がある。</p>																																			
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課																																			

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	11芸術文化事業	決算書	P.144
細事業名	01 芸術文化事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	32,590千円	32,590千円	0千円	100.0%	32,590千円	
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう芸術・文化を育て、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。					
主要な事務・事業の概要	<p>芸術・文化活動の推進を図るため、文化活動団体への支援を行い、市民が優れた芸術文化に触れる機会の提供及び市民による文化活動の充実を図る。</p> <p>○京都：Re-Search実行委員会負担金 500千円</p> <p>アーティスト5人が本市に滞在して地域を調査し、アート作品の構想を立たした。</p> <p>○京都府丹後文化事業団運営補助金 27,000千円</p> <p>映画上映やコンサート、公演など多くの事業を実施し、丹後地域における豊かな文化の振興及び普及に努めた。</p> <p>○京丹後市文化協会活動費補助金 3,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加盟団体 157団体、2,062人 ※平成31年3月末現在</li> <li>・総合文化祭として、「舞台芸能祭」や「総合作品展」を実施したほか、支部事業等を多数実施し、市民の芸術鑑賞機会や自主的な活動の場を提供した。</li> <li>○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300千円</li> <li>丹後地域2市2町の住民参加の文化事業として、幼児から高齢者まで、舞台部門（7事業）、展示部門（2事業）、セミナー（2事業）を実施した。</li> <li>○小町まろん短歌大会開催補助金 125千円</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日、会場 平成30年12月2日（日）、アグリセンター大宮</li> <li>・短歌投稿 一般の部688首、高校生の部877首、中学生の部1,905首</li> <li>小学生の部549首（合計）4,019首</li> <li>・大会内容 添削教室、開会式典、記念講演、入選作品の発表・表彰・講評</li> <li>・参加人数 110人</li> <li>○京丹後郷土芸能祭事業補助金 165千円</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日、会場 平成30年10月21日（日）、京都府丹後文化会館</li> <li>・内容 「丹後の祭り」5団体の発表、入場者250人</li> </ul> </ul> </ul>					
主な財源	府補 京丹後郷土芸能祭事業補助金 165千円					
成果・課題	<p>○子どもから大人まで、幅広い世代が優れた文化を鑑賞する機会を提供及び地域文化の普及・振興等を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。</p> <p>○市民ニーズを的確に把握した事業の推進、文化協会等各団体の更なる自立した運営に向けて指導していく必要がある。</p> <p>○京丹後市文化芸術振興条例制定に伴い、文化芸術に関する施策の総合的、計画的な推進方策等を検討する必要がある。</p>					
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課					

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	01スポーツのまちづくり推進事業	決算書	P.148
細事業名	01 地域スポーツ推進事業					
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実				
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額		
	6,163千円	6,303千円	140千円	97.7%	6,614千円	
目的	ライフステージに応じた各種スポーツ大会を実施することで、市民の生きがいの実感や健康づくりを促進する。					
主要な事務	市民を対象とした各種スポーツ大会の実施及び支援を行った。					
・事業の概要	<p>○報償費 84千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種スポーツ大会等審判員謝金 18千円</li> <li>はしうど杯卓球選手権大会(12月9日)参加者113人 66千円</li> <li>各種スポーツ大会入賞記念品 5千円</li> <li>京丹後市総合体育大会、弥栄町文化祭駅伝大会、はしうど杯卓球選手権大会</li> </ul> <p>○旅費(職員旅費) 321千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需用費(消耗品費、燃料費、食糧費) 71千円</li> <li>○役務費(通信運搬費、手数料) 17,245人</li> <li>「京丹後チャレンジデー2019」プレイバント(10月31日、参加者 930千円)</li> </ul> <p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カヌースプリント春季・秋季大会、カヌー交流大会運営委託料 795千円(5月19日、6月2日、10月27日)102人参加 ※春季大会は悪天候のため中止</li> <li>市長杯中学生野球大会開催委託料(6月2・3日)市内6校参加 101千円</li> <li>弥栄町文化祭駅伝大会バス運転委託料(11月3日)220人参加 17千円</li> <li>府民総合体育大会バス運転委託料(2月10日) 17千円</li> </ul> <p>○使用料及び賃借料(有料道路使用料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○負担金、補助金及び交付金 4千円</li> <li>府民総合体育大会(8月～2月)15競技参加 4,748千円</li> <li>市民総合体育大会(9月2日)23種目 2,000人参加 1,448千円</li> <li>市民総合体育大会(9月2日)23種目 2,000人参加 3,300千円</li> </ul>					
主な財源	諸収入 参加者負担金 60千円					
成果・課題	市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課(スポーツ推進室)					

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	02国際スポーツ推進事業	決算書	P.148
細事業名	01 国際スポーツ推進事業					
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進				
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額		
	6,694千円	37,032千円	30,338千円	18.0%	37,937千円	
目的	2020東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加並びにスポーツによる地域の活性化を図る。					
主要な事務	<p>&lt;ホストタウン推進事業&gt; 韓国ソリジョン高校、韓国カヌー連盟との交流等 1,656千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費(記念品)、旅費、需用費 1,012千円</li> <li>○委託料(ホストタウン事業委託料) 590千円</li> <li>○使用料及び賃借料(有料道路通行料、駐車場使用料) 54千円</li> </ul> <p>&lt;オリンピック事前合宿地視察等受入&gt; ス페인ほか4か国受入 2,442千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費(記念品)、旅費、需用費 321千円</li> <li>○役務費(手数料)、委託料(会場設営委託料) 1,627千円</li> <li>○使用料及び賃借料(自動車借上料、船舶借上料等) 494千円</li> </ul> <p>&lt;オリパラフラッグツアー、スポーツのバリアフリー講演会&gt; 274千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委託料(会場設営委託料等) 248千円</li> <li>○使用料及び賃借料(宿泊施設使用料) 26千円</li> </ul> <p>&lt;外国語セミナー開催事業&gt; 500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委託料(外国語セミナー、宿泊施設外国人受入セミナー) 1,574千円</li> </ul> <p>&lt;全国高等学校カヌー長距離選手権大会&gt; 834千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委託料(コース設置、会場設営委託料等) 740千円</li> <li>○備品購入費(マークアップ) 248千円</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;(旅費、消耗品費、有料道路通行料)</p>					
主な財源	<p>■令和元年度への繰越事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カヌーコース整備事業 令和元年10月完了予定 30,280千円</li> <li>・久美浜湾カヌー競技場カヌー艇庫・コース設計業務 7,340千円</li> <li>・久美浜湾カヌー競技場1000mコース整備事業 16,071千円</li> <li>・久美浜湾カヌー競技場1000mコース備品購入 6,869千円</li> </ul> <p>諸収入 参加者負担金 60千円</p>					
成果・課題	ホストタウン交流事業や、事前合宿地の誘致活動などを通して、スポーツを通じた交流促進や、本市のスポーツ・観光情報等を発信することができた。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課(スポーツ推進室)					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05遺跡整備事業	決算書	P.146
細事業名	01 遺跡整備事業					
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進					
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額		
	13,301千円	33,761千円	20,460千円	39.3%	53,615千円	
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
主要な事業の概要	<p>国史跡網野鈔子山古墳について、平成23年に策定した「網野鈔子山古墳整備基本計画」に基づき史跡の保存を図りつつ整備を行うため、史跡整備検討委員会を2回開催した。検討委員会及び文化庁等の指導を受け、平成30年度整備工事予定部分について「網野鈔子山古墳環境整備実施設計」を行い、工事を実施した。</p> <p>なお、平成30年度整備工事は、工法の検討に時間を要し、年度内に工事を完了が見込めなかったため、令和元年度に繰越した。</p> <p>○網野鈔子山古墳整備事業費 13,301千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬費 118千円</li> <li>・旅費 159千円</li> <li>・需用費 27千円</li> <li>・委託料 793千円</li> <li>・工事請負費 2,484千円</li> <li>・鈔子山古墳環境整備工事実施設計委託料 9,720千円</li> <li>・鈔子山古墳環境整備工事費(前金払分)</li> </ul>					
主な財源	<p>■令和元年度への繰越事業</p> <p>網野鈔子山古墳環境整備事業 20,280千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事請負費 18,464千円</li> <li>・工事施工監理業務委託料 1,816千円</li> </ul>					<p>国補市債</p> <p>国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 6,142千円</p> <p>遺跡整備事業債(過疎対策債) 6,000千円</p>
成果・課題	史跡整備検討委員会の指導を受け、網野鈔子山古墳の保存を図るとともに、環境整備工事を行うために必要な実施設計を作成できた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡発掘調査等事業	決算書	P.146
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業					
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進					
決算	① 最終予算額	② 不用額	②-① 執行率	(参考)当初予算額		
	4,331千円	4,408千円	77千円	98.2%	3,792千円	
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護・活用につなげる。					
主要な事業の概要	<p>整備に先立って網野鈔子山古墳発掘調査を実施した。また開発対応として、府営農業競争力強化基盤整備事業に伴う女布遺跡の発掘調査、市道整備計画に先立つ林・大將軍遺跡の範囲確認調査を実施し、調査報告書を刊行したほか、遺跡分布調査を実施した。</p> <p>○網野鈔子山古墳発掘調査 3,497千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査期間 平成30年5月21日～12月25日</li> <li>調査補助員賃金、共済費 1,611千円</li> <li>作業員派遣委託料 1,555千円</li> <li>需用費 プルーフシート、写真現像経費等 216千円</li> <li>旅費 10千円</li> <li>使用料及び賃借料、役務費 発電機借上、トイレ借上等 105千円</li> </ul> <p>・調査成果 後部部では良好な状態のふさ石や植輪列を確認し、整備のための材料を得た。くひれ部もふさ石が良好に残ることを確認した。</p> <p>○女布遺跡発掘調査 509千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査期間 平成30年7月2日～7月19日</li> <li>調査補助員賃金、共済費 114千円</li> <li>作業員派遣委託料 136千円</li> <li>需用費等 プルーフシート、写真現像経費、印刷製本費等 84千円</li> <li>使用料及び賃借料 重機借上、トイレ借上、役務費等 175千円</li> </ul> <p>・調査成果 調査を行った範囲では、あざらかな遺構は見つからなかった。</p> <p>○林・大將軍遺跡発掘調査 209千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査期間 平成30年9月25日～9月28日</li> <li>調査補助員賃金、共済費 37千円</li> <li>需用費等 印刷製本費 29千円</li> <li>使用料及び賃借料 重機借上 143千円</li> </ul> <p>・調査成果 調査の結果、遺跡の範囲や残存状況を確認できた。</p> <p>○市内遺跡分布調査 116千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査期間 平成31年1月9日～2月27日</li> <li>調査補助員賃金、共済費 116千円</li> </ul>					
主な財源	<p>国補府補</p> <p>国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 2,000千円</p> <p>埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金(1/4) 1,000千円</p>					
成果・課題	<p>○網野鈔子山古墳の発掘調査では、残りの良い遺構を確認することができ、今後の整備につながる知見を得た。また、くひれ部の調査は次年度に継続することとなった。</p> <p>○開発に先立つ発掘調査、確認調査では、遺跡の範囲や残り具合を確認でき、今後の開発事業との調整のための資料を得た。</p> <p>○市内遺跡分布調査では、将来の開発に備えた補足調査を実施することができ、今後の遺跡地図作成と文化財保護に役立つ知見を得た。</p>					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					